



TITLE:

法令

AUTHOR(S):

CITATION:

法令. 經濟論叢 1927, 24(2): 431-444

ISSUE DATE:

1927-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/128500>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號 二 第

卷四十二第

行發日一月二年二和昭

論 叢

印紙稅廢止論 教授 法學博士 神戶 正雄

生物の美的進化 教授 理學士 川村多實二

露西亞の新經濟政策と農業 教授 法學博士 河田 嗣郎

說 苑

ブルゲン氏の諸社會主義評論 教授 法學博士 田島 錦治

英國勞働黨の銀行國有論 助教授 經濟學士 谷口 吉彦

物價指數の意味 講師 經濟學士 蜷川 虎三

雜 錄

町人の財力と士農兩階級 教授 經濟學博士 本庄榮治郎

Populationistik につきて 教授 法學博士 財部 靜治

英吉利の國際海運收入 教授 經濟學博士 小島昌太郎

獨逸帝國銀行の發券制度 助教授 法學士 汐見 三郎

法 令

健康保險特別會計規則・健康保險法施行規則

法令

健康保險法施行規則

內務省令第三十六號 (大正十五年七月一日)

第一章 總則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ使用セラル工場又ハ事業場ノ所在地ヲ管轄スル健康保險署ニ於テ、同法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ住所地方管轄スル健康保險署ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 被保險者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラル場合ニ於テ被保險者二以上アルトキ又ハ其ノ使用セラル工場若ハ事業場ノ所在地カ異リタル健康保險署ノ管轄區域ニ屬スルトキハ被保險者ハ其ノ屬スヘキ健康保險署又ハ健康保險組合ヲ定メ其ノ旨ヲ其ノ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ
健康保險署長又ハ健康保險組合前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係アル健康保險署長又ハ健康保險組合ニ之ヲ通知スヘシ
第三條 事業主ハ毎年六月一日現在ニ依リ被保險者ノ報酬日額算定ノ基礎ヲ様式第一號ニ依リ同月十日迄ニ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

第四條 被保險者ノ報酬ニ著シキ増減アリタルトキハ事業主ハ様式第一號ニ準シ遲滞ナク其ノ旨ヲ健康保險署長又ハ健康保

險組合ニ届出ツヘシ

第五條 前二條、第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ健康保險署長又ハ健康保險組合ハ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ標準報酬ヲ變更シタルトキ亦同シ

事業主前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ告知スヘシ

第六條 保險官署ノ官吏又ハ吏員保險事故ノ生シタル作業ノ場所ニ臨檢スル場合ニ於テハ様式第二號ニ依ル臨檢證ヲ携帯スヘシ

第七條 健康保險法施行令第九十九條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ハ様式第三號ニ依リ作製シ工場又ハ事業場毎ニ之ヲ備フヘシ

第八條 事業主ハ保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ十二年間保存スヘシ

第九條 保險者ニ於テ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲ニ爲スコトヲ得ル施設左ノ如シ

- 一 保健ニ關スル宣傳
- 二 傷病ノ豫防ニ關スル施設
- 三 健康診斷ニ關スル施設
- 四 保養ニ關スル施設

第二章 被保險者

第十條 被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第四號ニ依リ五日以内ニ之ヲ健康保險署長又ハ健康保險組

合ニ届出ツヘシ

被保険者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ健康保険署長又ハ健康保険組合ニ届出ツヘシ

第十一條 健康保険法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者カ同法第十三條若ハ同法第十五條ノ規定ニ依ル被保険者ト爲リタルトキハ事業主ハ様式第四號ニ準シ五日以内ニ之ヲ健康保険署長又ハ健康保険組合ニ届出ツヘシ

第十二條 被保険者同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルトキハ其ノ各業務ニ付左ニ掲クル事項ヲ健康保険署長又ハ健康保険組合ニ届出ツヘシ

一 事業主ノ氏名及住所

二 工場又ハ事業場ノ名稱及所在地

第十三條 健康保険法第十四條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 工場又ハ事業場ノ名稱、所在地及種類

三 被保険者ト爲ルヘキ者ノ員數

健康保険法第十四條第一項ノ認可ノ申請ト同時ニ其ノ事業ニ付健康保険組合ノ設立又ハ事業ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第十四條 健康保険法第十九條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲

クル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 工場又ハ事業場ノ名稱、所在地及種類

三 被保険者ノ員數

四 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地並其ノ組合力解散スヘキモノナルトキハ其ノ旨

第十五條 健康保険法第二十條ノ規定ニ依リ繼續シテ被保険者ト爲ルコトノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ未タ被保険者證ヲ返納セサル者ニ在リテハ之ヲ添附スヘシ

一 住所

二 資格喪失ノ年月日

三 従前ノ標準報酬日額

四 資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル年月日

五 健康保険法施行令第十條ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十六條 健康保険法第二十一條ニ規定スル猶豫期間ハ健康保險法施行令第百條ニ規定スル納付期日經過後十日トス

第十七條 被保險者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ至ルタルトキハ事業主ハ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ健康保険署長又ハ健康保険組合ニ届出ツヘシ

一 被保險者ノ氏名

二 被保險者證ノ記號及番號

三 該當ノ事實及該當シ又ハ該當セサルニ至リタル年月日
健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者又ハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ者ニ於テ前項ノ例ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第十八條 事業主ニ變更アリタルトキハ事業主及事業主タリシ者運署ヲ以テ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ届出ツヘシ

一 事業ノ種類及新舊名稱

二 工場又ハ事業場ノ所在地及新舊名稱

三 變更ノ年月日及事由

四 事業主及事業主タリシ者ノ氏名及住所

事業ノ一部ニ付事業主ノ變更アリタル場合ニ於テハ前項各號ノ外被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號ヲ届出ツヘシ

第十九條 工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場カ其ノ適用ヲ受ケタルニ至リタルトキハ事業主ハ其ノ工場ノ名稱及所住地並適用ヲ受ケサルニ至リタル年月日及事由ヲ五日以内ニ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

第二十條 左ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ事業主ハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ健康保險署長又健康保險組合ニ届出ツヘシ

一 事業ノ名稱又ハ種類

二 事業主ノ氏名又ハ住所

三 工場又ハ事業場ノ名稱、所在地又ハ種類

法 令

四 被保險者ノ氏名又ハ業務ノ種類

第二十一條 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ
被保險者健康保險署ノ管轄區域ニ涉リ住所ヲ變更シタルトキハ前項ノ届出ハ各健康保險署長ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第二十二條 第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依リ届出アリタルトキハ健康保險署長又ハ健康保險組合ハ其ノ被保險者ノ被保險者證ノ記號及番號ヲ遡帶ナク事業主ニ通知スヘシ其ノ記號及番號ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十三條 健康保險署長又ハ健康保險組合ハ様式第六號ニ依ル被保險者證ヲ被保險者ニ交付スヘシ但シ健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

被保險者證ノ第一回ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ被保險者ハ遡帶ナク之ヲ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ提出シテ其ノ改訂ヲ受ケヘシ

被保險者證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ被保險者證ニ餘白ナキニ至リタルトキハ被保險者ハ遡帶ナク被保險者證ヲ添ヘ

(滅失ノ場合ヲ除ク)其ノ旨ヲ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

被保險者其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ被保險者ニ變更アリタルトキハ其ノ被保險者證ヲ十日以内ニ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ返納スヘシ但シ資格喪失後引續キ保險給付ヲ

法令

第二十四卷 四三四 第二號 一四六

受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日ヨリ十日以内ニ返納スヘシ
前項ノ資格喪失ノ原因死亡ナルトキハ埋葬料又ハ健康保険法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ於テ其ノ請求ノ際被保險者證ヲ返納スヘシ

第三章 健康保險組合

第二十四條 健康保險組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ但シ健康保險法第三十二條ノ規定ニ依リ組合設立ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號及第六號ノ書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セス

一 規約

二 事業計畫書

三 保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面

四 初年度ノ收入支出ノ豫算

五 健康保險法施行令第十一條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記載スルコト)

六 組合ノ設立ニ付健康保險法第二十九條第一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類

第二十五條 健康保險法又ハ之ニ基ク命令ノ規定ニ依リ組合ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ事項カ組合會ノ議決ヲ經タルモノナルトキハ申請書ニ其ノ會議錄ノ寫ヲ添附スヘシ

認可申請ヲ爲スヘキ事項カ健康保險法施行令第四十條ノ規定ニ依リ理事專決シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十六條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱及被保險者ノ員數並合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ成立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ
一 合併後ニ於ケル事業計畫書

二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル各組合ノ財産目錄

三、合併ニ因リテ成立スル組合アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ規約、保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度ノ收入支出ノ豫算

合併後存續スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合ノ分割後存續スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及被保險者ノ員數ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書

二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル分割スル組合ノ財産目錄

三 分割ニ因リテ成立スル組合ノ承繼スル權利義務ノ限度ヲ示シタル書面

四 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度ノ收入支出ノ豫算

前條第二項ノ規定ハ分割後存續スル組合ノ分割ニ伴フ規約變更ノ認可申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及

被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル財産目錄ヲ添附スヘシ

第二十九條 被保險者タル組合員當時ナキニ至リタル爲組合解散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事タリシ者ニ於テ遲滞ナク内務大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添附スヘシ

第三十條 組合ノ設立アル事業ノ編入又ハ削除ニ關スル規約變更ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スヘシ

一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書

二 健康保險法施行令第七十條ノ書面ノ寫（被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記載スルコト）

三 事業ノ編入又ハ削除ニ付健康保險法施行令第六十七條第一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類

第三十一條 組合合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ理事タリシ者ハ其ノ組合員タリシ被保險者ノ保險ヲ管掌スル組合ノ理事ニ對シ遲滞ナク其ノ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ

事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタル者連署ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ社會局長官ニ届出ツヘシ

第三十二條 前條ノ規定ハ組合解散シタル場合及組合其ノ組合ノ設立アル事業ヲ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 組合會ノ會議錄ニハ議長及出席議員二人以上之ニ署名スヘシ

第三十四條 收入支出ノ豫算ハ様式第七號ニ依リ之ヲ調製シ毎年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スヘシ

第三十五條 保險料率ノ認可申請書ニハ計算ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添附スヘシ

第三十六條 決算ハ様式第七號ニ依リ、事業報告ハ様式第八號ニ依リ年度經過後三月内ニ之ヲ調製シ次ノ組合會ノ認定ニ付スヘシ

決算及事業報告ハ組合會ノ認定ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ社會局長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ組合會ノ認定ニ付シ又ハ社會局長官ニ届出ツル場合ニ於テハ之ヲ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添附スヘシ

第三十七條 財産目錄ハ様式第九號ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三十八條 組合ハ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目錄ト共ニ之ヲ公示スヘシ

第三十九條 組合ハ第三十六條ノ規定ニ依リ事業報告ヲ調製シタルトキハ遲滞ナク之ヲ社會局長官ニ報告スヘシ

第四十條 組合ハ様式第十號ニ依リ毎月ノ事業狀況ヲ翌月十五日迄ニ社會局長官ニ報告スヘシ

第四十一條 組合原簿ハ様式第十一號ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四十二條 組合ハ被保險者臺帳、歳入簿、歳出簿及現金出納簿ヲ備フヘシ

前項ノ帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第四十三條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定ム

第四十四條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定ム

又ハ改廢シタルトキハ遲滞ナク之ヲ社會局長官ニ報告シ且組合員ニ周知セシムヘシ

第四十四條 議員又ハ理事就職シタルトキハ組合ハ様式第十二號ニ依リ遲滞ナク之ヲ社會局長官ニ届出ツヘシ

議員又ハ理事退職若ハ死亡シタルトキ又ハ理事長就職、退職若ハ死亡シタルトキハ組合ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ社會局長官ニ届出ツヘシ

第四章 保險給付

第四十五條 被保險者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ保險者ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ之ヲ申出ツヘシ

前項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テハ被保險者ハ被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スヘシ

健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者第一項ノ申出ヲ爲ス場合ニ於テ共済組合ヨリ其ノ年又ハ其ノ前年ニ於テ給付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ給付ノ内容及期間ヲ證スル書面ヲ、給付ヲ受ケサル者ニ在リテハ共済組合ノ組合員タル被保險者ナルコトヲ證スル書面ヲ被保險者證ニ代ヘ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テ疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ之ニ關スル事業主ノ證明書

ヲ提出スヘシ

健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ繼續シテ療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ル者療養ノ給付ヲ受ケムトスルトキハ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得ルモノナルコトヲ保險者ニ於テ承認シタル書面ヲ提示シテ之ヲ保險醫ニ申出ツヘシ

第四十六條 保險醫被保險者ニ對シ療養ヲ爲ササルニ至リタルトキハ遲滞ナク被保險者證又ハ前條第三項ノ書面ヲ被保險者ニ返還スヘシ但シ其ノ被保險者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ

保險醫前項ノ規定ニ依リ被保險者證又ハ前條第三項ノ書面ヲ返還スルトキハ被保險者證ノ第二面ニ掲クル事項ヲ之ニ記載スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ保險醫第四十七條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ヲ交付シタルモノナルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ療養證明書ノ全部返納アリタルトキ被保險者證又ハ前條第三項ノ書面ヲ返還スヘシ但シ保險醫變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條 保險醫ノ療養ヲ受クル被保險者同時ニ他ノ保險醫ニ就キ療養ヲ受クルノ必要アルトキハ被保險者證又ハ第四十五條第三項ノ書面ヲ保管スル保險醫ニ就キ様式第十三號ニ依ル療養證明書ノ交付ヲ受クヘシ

前項ノ療養證明書ハ之ヲ被保險者證ト看做シ前二條ノ規定ヲ適用ス

被保險者保險醫ノリ療養證明書ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ交付シタル保險醫(保險醫變更ノ場合ニ於テハ變更後ノ保險醫)ニ返還ナク返納スヘシ

第四十八條 被保險者保險醫變更ノ爲被保險者證、第四十五條第三項ノ書面又ハ療養證明書ノ返還ヲ受ケムトスルトキハ保險醫變更ニ付健康保險署長又ハ健康保險組合ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ當該保險醫ニ提示スヘシ

第四十九條 被保險者ノ療養ノ爲必要アリト認ムルトキハ保險醫ハ健康保險署長又ハ健康保險組合ノ承認ヲ受ケ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得

緊急ノ必要アリト認ムルトキハ保險醫ハ前項ノ規定ニ拘ラス直ニ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ診療後遲滞ナク其ノ事由ヲ健康保險署長又ハ健康保險組合ニ報告スヘシ

第五十條 被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ保險醫ハ處方箋ニ其ノ使用期間ノ開始及終了ノ年月日ヲ記載スヘシ

第五十一條 保險醫ノ療養ヲ受クル被保險者處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ其ノ處方箋ヲ交付シタル保險醫ニ就キ療養證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ保險醫處方箋ノ交付ト同時ニ療養ノ爲ササルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス被保險者保險者ノ指定シタル藥劑師(以下保險藥劑師ト稱ス)ニ就キ處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ被保險者證、第四十五條第三項ノ書面又ハ療養證明書ヲ提示スヘシ

シ

被保險者ニ對シ藥劑ノ支給ヲ爲シタルトキハ保險藥劑師ハ被保險者證、第四十五條第三項ノ書面又ハ療養證明書ニ第四十六條第二項ノ規定ニ準シ必要ナル記載ヲ爲スヘシ

第五十二條 療養ノ給付ヲ受クル疾病又ハ負傷力第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ其ノ事實、第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)並疾病又ハ負傷ノ狀況ヲ遲滞ナク健康保險署長又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ

第五十三條 被保險者健康保險法施行令第七十七條第一項第一號ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ届出ツヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 疾病又ハ負傷ノ年月日及原因

三 疾病又ハ負傷力業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

四 疾病又ハ負傷ノ經過

五 療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由

六 疾病又ハ負傷力第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)

其ノ旨)

疾病又ハ負傷力業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ前項ノ届書ニ添附スヘシ

被保險者特別ノ事情ニ因リ前項ノ證明書ヲ受クルコトヲ得サルトキハ届書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五十四條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ承認

法 令

第二十四卷 四三八 第二號 一五〇

ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 前條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲クル事項

二 診療ヲ受ケムトスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並其

ノ診療ヲ受ケムトスル事由

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 健康保險法施行令第七十七條第一項第二號ノ療養

費支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 診療ノ内容及期間

三 診療ニ要シタル費用ノ額

四 診療ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ事由

前項ノ申請書ニハ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル謄憑書類

ヲ添附スヘシ

第五十六條 健康保險法施行令第七十七條第一項第三號ノ療養

費支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 第五十三條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲クル事

項

二 手當ヲ受ケタル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ氏名及住所

三 手當ノ内容及期間

四 手當ニ要シタル費用ノ額

五 緊急ナリシコトノ事由

第五十三條第二項及前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準

用ス
第五十七條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記

載スヘシ

一 被保險者ノ記號及番號

二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因

三 疾病又ハ負傷ノ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別

四 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間

五 傷病手當金ヲ健康保險法施行令第七十九條又ハ同令第八

十七條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ主トシテ被保險者ニ依

リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月及被保險者トノ親類、

收容セラレタル病院、病舎又ハ療養所ノ名稱及所在地並收

容セラレタル事由、年月日及期間

六 傷病手當金ヲ健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ

ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

七 傷病手當金ヲ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ル

モノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、

受クルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並健康保險法施行令

第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報

酬ヲ受クルコト能ハサリシ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 前項第四號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及

事業主ノ證明書

二 疾病又ハ負傷ノ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ

關スル事業主ノ證明書

療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル爲療養費ノ支給ヲ受クル場
合ニ於テハ傷病手當金支給ノ請求書ニハ前項各號ノ書類ハ之

ヲ添附スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付引續キ傷病手當金ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ請求書ニ第二項第二號ノ證明書ヲ添附スルコトヲ要セス

第五十八條 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號

二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間

三 療養ニ要スル費用ノ見積額

四 現ニ療養ヲ受クル保險醫ノ氏名及住所

五 健康保險法第四十八條第一項第一號ノ場合ニ於テハ事業主ニ於テ扶助ヲ爲スヘキ義務ノ基クテ法令ノ條項

六 健康保險法第四十八條第一項第二號ノ場合ニ於テハ擔保ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法

第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫ヲ添附スヘシ

一 死亡シタル被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號

二 死亡ノ年月日及原因

三 死亡ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)

四 被保險者ト請求者トノ續柄

第六十條 健康保險法第四十九條第二項又ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町

村長ノ埋火葬認許證ノ寫及埋葬ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ

一 前條第一號乃至第三號ニ掲クル事項

二 埋葬ヲ行ヒタル年月日

三 埋葬ニ要シタル費用ノ額

第六十一條 分焼費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長、醫師又ハ產婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證明シタル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 分焼ノ年月日

三 死産ナルトキハ其ノ旨

第六十二條 出産手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 分焼前ノ場合ニ於テハ分焼ノ豫定年月日、分焼後ノ場合ニ於テハ分焼アリタル年月日

三 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間

四 出産手當金カ健康保險法施行令第八十一條第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ主トシテ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月及被保險者トノ續柄、收容セラレタル産院ノ名稱及所在地並收容セラレタル年月日及期間

五 出産手當金カ健康保險法施行令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

六 出産手當金カ健康保險法施行令第八十六條ノ規定ニ依ル

モノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、
受クルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並健康保險法施行令
第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出產手當金ノ額及報
酬ヲ受クルコト能ハサリシ事山

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スヘシ

一 前項第三號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及
事業主ノ説明書

二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ產婆ノ意見書

前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條第四項ノ規定ヲ準用
ス

第六十三條 傷病手當金、分娩費又ハ出產手當金ノ支給ヲ受ケ
ムトスル者カ健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ内務大臣
ノ指定シタル共済組合ノ組合員タル被保險者ナルトキハ其ノ
請求書ニ共済組合ヨリ受クル給付ノ期間及額ヲ記載スヘシ埋
葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第
二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受ケムトスル場合ニ於テ死亡シタル者
カ健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ内務大臣ノ指定シタ
ル共済組合ノ組合員タル被保險者ナリシトキ亦同シ

第六十四條 第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六
條第二項第五十七條第二項第六十一條及第六十二條第二項ノ
規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ產婆ノ意見書若ハ證明書又ハ
事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ保險給
付ノ請求書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書
ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第六十五條 保險給付ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ第五十三條第二項、第五十四條第二項、
第五十六條第二項、第五十七條第二項、第六十一條及第六十
二條第二項ノ規定ニ依リ請求書ニ添附スヘキ書類ハ請求ノ際
之ヲ提出スヘシ但シ保險者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ第四十五條第四
項、第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二
項、第五十七條第二項及第六十二條第二項ノ規定ニ依リ證明
書ヲ求メラレタルトキハ事業主ハ正當ノ事由アルニ非サレハ
之ヲ拒ムコトヲ得ス第六十四條ノ規定ニ依リ證明ノ記載ヲ求
メラレタルトキ亦同シ

第六十七條 健康保險組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル
手續ニ付第四十五條乃至第六十二條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定
ヲ爲スコトヲ得

第六十八條 政府ノ管掌スル保險ノ傷病手當金又ハ出產手當金
支給期日ハ毎月十日及二十五日トス但シ毎月一回報酬ノ支拂
ヲ受クル被保險者ニ付テハ毎月二十五日トス

前項ノ期日休日ニ當ルトキハ之ヲ繰下ク
毎支給期日ニ於テ支給スル傷病手當金又ハ出產手當金ハ其ノ
支給期日ヲ五日前迄ニ請求アリタル分トス

第六十九條 健康保險法第四十七條第二項ノ期間ハ曆年毎ニ之
ヲ計算ス

第七十條 健康保險組合ニ於テ健康保險法施行令第八十八條第

一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ遲滞ナク社會局長官ニ報告スヘシ

一 保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ノ氏名

二 事實

三 決定ノ内容

四 決定ノ年月日及之ヲ本人ニ通知シタル年月日

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

第五章 健康保險法第八十條ノ審査手續

第七十二條 審査ノ請求ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ第一次健康保險審査會ニ對スル審査ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 文書ヲ以テ審査ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ審査請求書ニ記名調印シ證據書類アルトキハ之ヲ添附シ當該健康保險審査會ニ提出スヘシ

第一次健康保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 審査請求人ノ氏名、住所及生年月並審査請求人被保險者

又ハ被保險者タリシ者ニ非サルトキハ其ノ職業及被保險者

又ハ被保險者タリシ者トノ關係

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名並保險事故發生ノ

際其ノ使用セラレタル工場又ハ事業場ノ名稱及所在地

三 保險給付ニ關スル處分ヲ爲シタル健康保險署又ハ健康保

險組合ノ名稱

法 令

四 保險給付ニ關スル處分ノ通知ヲ受ケタル年月日

五 請求ノ事件及一定ノ申立

六 請求ノ理由

七 立證

八 年月日

第二次健康保險審査會ニ對スル審査請求書ニハ前項第一號、第二號及第六號乃至第八號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ第一次健康保險審査會ノ決定書又ハ其ノ謄本ヲ添附スヘシ

一 第一次健康保險審査會ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル年月日
二 第一次健康保險審査會ノ決定ニ對スル不服ノ程度及變更ノ申立

第七十四條 口頭ヲ以テ審査ヲ請求シタル者アルトキハ書記ハ

前條第二項各號ノ事項ヲ記載シタル審査請求調書ヲ作製シ讀聞カセタル上之ニ記名調印セシメ證據書類アルトキハ之ヲ提出セシムヘシ

前項ノ審査請求調書ニハ之ヲ作製シタル書記署名捺印スヘシ
第七十五條 健康保險審査會審査ノ請求ヲ受ケタルトキハ保險

給付ニ關スル處分ヲ爲シタル健康保險署又ハ健康保險組合ニ對シ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ヲ送付スヘシ

健康保險署又ハ健康保險組合前項ノ審査請求書又ハ審査請求調書ノ寫ノ送付ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ答辯書及證據書類ヲ當該健康保險審査會ニ提出スヘシ

第七十六條 健康保險審査會必要アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シテ當事者交互ニ辯駁書及答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

法令

第七十七條 審査ノ決定書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 審査請求人ノ氏名、住所及生年月

二 保険給付ニ關スル處分ヲ處シタル健康保險署又ハ健康保險組合ノ名稱

三 決定主文

四 決定ノ理由

五 年月日

前項ノ決定書ノ原本ニハ會長署名捺印スヘシ

第七十八條 健康保險審査會ハ前條ノ決定書ノ原本ニ基キ正本

副本各一通ヲ作製シ健康保險審査會ノ印ヲ押捺シテ遲滞ナク

正本ハ之ヲ審査請求人ニ交付シ副本ハ之ヲ關係アル健康保險

署又ハ健康保險組合ニ送付スヘシ

審査請求人ニ對シ決定書ヲ交付スルコトヲ得サルトキハ健康

審査會ハ其ノ決定書ヲ揭示板ニ揭示スヘシ

前項ノ揭示アリタル後七日ヲ經過シタルトキハ決定書ノ交付

アリタルモノト看做ス

第七十九條 審査請求人ハ健康保險審査會ニ對シ決定書ノ謄本

ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第六章 罰則

第八十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科

料ニ處ス

一 第三條、第四條、第十條、第十一條、第十七條第一項及

第十八條乃至第二十條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届

書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

第二十四卷 四四二 第二號 一五四

二 第五條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ告知ヲ怠リタル者

三 正當ノ事由ナクシテ第六十六條ノ規定ニ依ル請求ニ應セ

ス又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者

四 第七條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付

若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ

對シ則覽ヲ拒ミタル者

五 第八條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者

第八十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又

ハ科料ニ處ス

一 第十七條第二項、第二十一條第一項及第五十二條ノ規定

ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第二十三條第四項又ハ第五項ノ規定ニ依ル被保險者證ノ

返納ヲ怠リタル者

三 第四十七條第三項ノ規定ニ依ル療養證明書ノ返納ヲ怠リ

タル者

附則

第八條、第九條、第十三條乃至第十六條、第十九條、第二十

一條、第二十四條乃至第四十四條、第六十七條、第八十條及第八

十一條ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ、第一條ノ規定ハ大正

十五年十月一日ヨリ、第二條乃至第五條、第十條乃至第十二

條、第十八條、第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ大

正十五年十一月一日ヨリ、第六條、第七條、第十七條、第四十

五條乃至第六十六條及第六十八條乃至第七十九條ノ規定ハ大正

十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 第一項ノ規定ニ依ル届出ハ期間ハ第十條ノ規定施行ノ日以前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ第十條ノ規定施行ノ日ヨリ五日以内トス

(様式省略)

健康保險特別會計規則

勅令第四號 (昭和元年十二月二十八日)

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

前項ノ豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細目録ヲ添附スヘシ

第二條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣社會局長官ニ命シテ之ヲ執行セシムヘシ但シ他ノ官吏ニ命シテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歳入額及一時借入金ヲ以テ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生シタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ仍不足アルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ニ對シ一時借入金ニ代ヘ國庫餘裕金ノ繰替使用ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第五條 保險料收入ノ年度所屬ハ其ノ保險料ヲ負擔スヘキ義務ノ發生シタル日ノ屬スル年度ニ依ル

第六條 毎年度出納ノ完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラサルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歳入又ハ歳出トス

第七條 健康保險特別會計法第三條第一項ノ規定ニ依リ一般會計ヨリ繰入ルル金額算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ノ計算ニ付テハ健康保險法施行令第九十一條ノ規定ヲ準用ス

第八條 健康保險特別會計法第三條第一項ニ規定セル被保險者ノ員數ノ計算ニ付テハ健康保險法施行令第九十二條ノ規定ヲ準用ス

第九條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ社會局長官ニ送付スヘシ

第十條 社會局長官ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十一條 支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ社會局長官ニ送付スヘシ

第十二條 社會局長官ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十三條 毎年度ノ歳入ノ收入濟額ヨリ歳出ノ支出濟額及翌年

法令

度繰越額ヲ控除シタル殘餘ハ總テ之ヲ積立金ニ組入ルヘシ
第十四條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度
七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十五條 社會局ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ健康保險ニ關
スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第十六條 社會局ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定濟額、收
入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第十七條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元
受高、支出濟額及殘額ヲ登記スヘシ

第十八條 社會局ハ歳出簿及支拂元受高差引簿ヲ備ヘ歳出簿ニ
ハ歳出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越
額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟
額及殘額ヲ登記スヘシ

第十九條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正十五年(三月二十九日公布)法律第二十六號健康保險特
別會計法抄錄

第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリ繰入ルル金額、
積立金ヨリ生スル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳
入トシ保險給付費、保險施設費、借入金ノ償還金及其ノ利
子、一時借入金ノ利子、事業取扱費、營繕費其ノ他ノ諸費
ヲ以テ其ノ歳出トス

第二十四卷 四四四 第二號 一五六

第三條 前條ノ一般會計ヨリ繰入ルル金額ハ勅令ノ定ムル所
ニ依リ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一トス但シ被保險者
一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム

大正十五年(六月三十日公布)勅令第二百四十三號健康保險
法施行令抄錄

第九十一條 健康保險法第七十條第一項ノ規定ニ依ル國庫負
擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ハ療養ノ給
付、產院收容及助産ノ手當ニ直接要シタル金額並傷病手當
金、出產手當金、分娩費、埋葬料、療養費及健康保險法第
四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給額ノ
合算額トシ毎年度之ヲ計算ス但シ同法第四十八條ノ規定ニ
依ル療養ノ給付ニ直接要シタル金額及同法第五十九條第一
項ノ規定ニ依ル傷病手當金又ハ出產手當金ノ支給額ハ之ヲ
算入セス

前項ノ療養ノ給付、產院收容又ハ助産ノ手當ニ要シタル器
具、機械、建築物其ノ他ノ施設ニシテ其ノ效用二年以上ニ
ルモノニ付テ 之ニ要シタル費用ヲ其ノ施設ノ豫定使用年
巨數ニ應シ各年均等ニ分割シテ之ヲ計算ス

第九十二條 健康保險法第七十條第二項ニ規定スル被保險者
ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ總數ノ平
均數トス